

『翻訳の日』に寄せて

2020年9月30日

本日9月30日は日本翻訳連盟（JTF）が制定した「翻訳の日」です。

この日は元来、翻訳に縁の深い聖ヒエロニムスにちなんだ日であり、欧米の翻訳コミュニティでは以前から「翻訳の日」として祝われていました。2017年5月、「国どうしを結び、平和と理解、発展を育むうえで専門の翻訳者が果たす役割」を重視する決議が国連総会にて採択され、9月30日が「国際翻訳デー（International Translation Day）」と公式に認定されたことに由来します。国内では、日本翻訳連盟が提案し、令和元年5月20日に日本記念日協会により正式に記念日として認定登録されました。これは誠に喜ばしいことです。JTF 翻訳祭も、以前からこの日を祝う年次大会として開催されています。

当連盟は来年4月18日に創立40周年を迎えます。現在まで翻訳・通訳業界の代表組織として続けられてこられたのも、ひとえに皆さまからのご指導ご支援があったからです。

当連盟は創立時からのビジョンを達成すべく、ひたすら「翻訳・通訳事業」の業界団体として世界平和と皆様の幸福（しあわせ）に寄与することに邁進して参りました。

この度、「翻訳の日」を迎えるにあたり、当連盟を支えてくださった官公庁をはじめ、翻訳者、通訳者の個人会員の皆様、法人・賛助会員の皆様に感謝の意を表するとともに、気持ちを新たに、さらなる業界の発展・進化に取り組んで参る所存です。

引き続き翻訳・通訳業界の発展のためにご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

ひとりじゃないよ。 離れていても 心はつながっているよ。

一般社団法人日本翻訳連盟（JTF）

代表理事・会長 安達 久博